

## 2019年北京世界園芸博覧会 日本国出展の基本的方向性

(案)

### ■ 基本的コンセプト

- 日本の花きと花き文化を展示する屋内展示及び日本庭園等の屋外展示が調和のとれた一体となった展示として、「庭邸一如」の考え方のもとに多様で奥行きのある日本の園芸文化とライフスタイルの今を伝える
- 日本人の自然に対する畏敬と感謝の思いによって育まれてきた世界に誇る造園及び花き園芸文化は、安らぎだけではなく、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」に対しても自然環境の積極的な利用を通じて一層の貢献の可能性があることから、現在の日本の環境技術やライフスタイルとあわせ来訪者に伝える。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック、2022年北京冬季オリンピックが予定されている中で、両国の人的、経済的交流の一層の拡大につながるよう日本の魅力を伝える。

### ■ 出展テーマ

#### ○Japanese Green Lifestyle

自然に関する畏敬の念と、自然に対する感謝の念をあわせもった日本人の自然観をふまえつつ、伝統的な園芸技術、花文化や日本庭園技法と最先端の環境技術を融合させた、日本の成熟したライフスタイルを表現する。

### ■ ゾーニング

#### ○出展区画は、次のゾーンで構成する

- ・屋外展示として、我が国の伝統的な造園技術を駆使し水辺空間を備えた様式による庭園
- ・屋内展示として、日本庭園と調和した花き園芸技術を展示する和風建築物及びそれと一体となった坪庭空間
- ・日本文化を伝える行催事の会場となる空間
- ・日本国出展に賛同した企業で、園芸博覧会のテーマと関連した商業活動を行う企業のPRの場となる空間